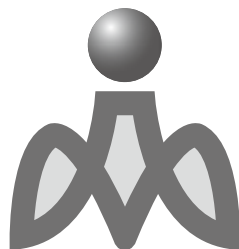


山 梨 県

商工会地区

# 中小企業景況調査報告書

〔平成28年1月～3月実績〕  
〔平成28年4月～6月予測〕



未来に敏感、人が中心

山梨県商工会連合会



# 目 次

I 調査要領 .....	1
II 景 況	
1. 産業全体の業況概観 .....	2
2. 製造業の動向	
(1) 景況概観 .....	3
(2) 主な項目で見る業況 .....	3
3. 建設業の動向	
(1) 景況概観 .....	6
(2) 主な項目で見る業況 .....	6
4. 小売業の動向	
(1) 景況概観 .....	9
(2) 主な項目で見る業況 .....	9
5. サービス業の動向	
(1) 景況概観 .....	12
(2) 主な項目で見る業況 .....	12



## 【I】 調 査 要 領

### 1. 調 査 対 象

(1) 対象地区 19商工会 (2) 対象企業数 165企業 (3) 回答企業数 165企業

### 2. 調査対象期間

第4四半期 平成28年1月～3月期 「調査時点：平成28年3月1日」

### 3. 調 査 方 法

県下の調査対象企業を19商工会の経営指導員等が訪問面接調査

### 4. 調査対象企業（モニター企業）の商工会別、業種内訳

商工会名	製 造 業	建 設 業	小 売 業	サービ業	計
都 留 市	3	2	3	4	12
山 梨 市	1	2	2	3	8
大 月 市	2	1	3	2	8
韭 崎 市	2	2	1	2	7
南アルプス市	3	2	4	6	15
北 杜 市	4	2	5	4	15
甲 斐 市	4	3	5	2	14
笛 吹 市	3	2	4	6	15
上 野 原 市	2	1	2	2	7
甲 州 市	3	1	2	3	9
中 央 市	2	1	2	1	6
市 川 三 郷 町	2	1	1	2	6
身 延 町	1	1	2	2	6
南 部 町	1	0	1	1	3
富 士 川 町	1	1	1	2	5
昭 和 町	1	1	3	3	8
西 桂 町	0	0	1	1	2
南 都 留 中 部	1	1	2	2	6
河 口 湖	1	1	6	5	13
計	37	25	50	53	165

### 5. そ の 他

①本報告書のD Iとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について前年同期と比較して、増加（上昇、好転、長期化等）とする企業割合と、逆に減少（低下、悪化、短期化等）とする企業割合の差を示すものである。

②次頁【II】1. 産業全体の業況概観・・・については、商工会調査企業だけではなく、他の本県経済団体調査企業（卸売業を含む）を含んだ286サンプルによるものである。

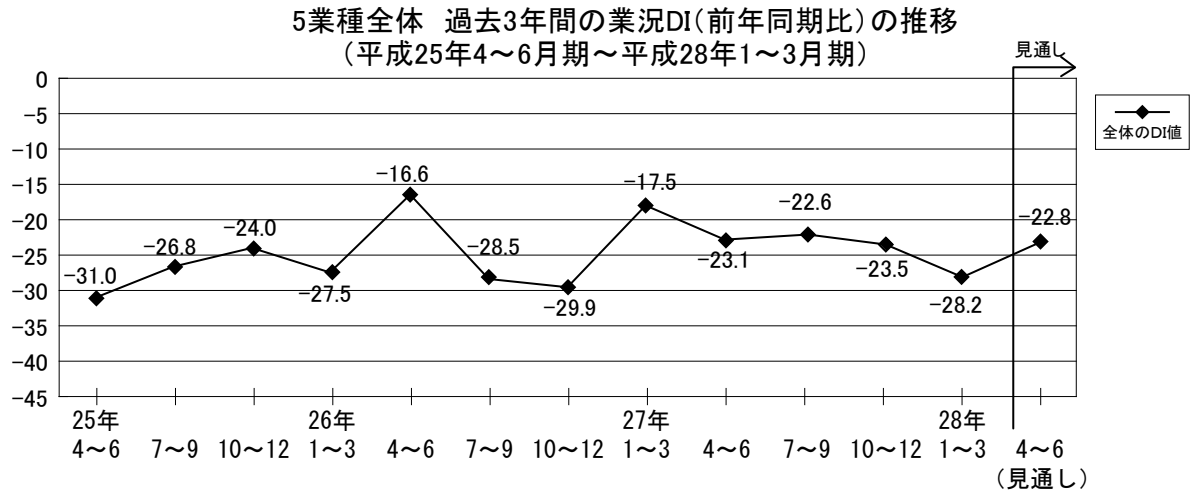
## 【Ⅱ】 景 況

### 1. 産業全体の業況概観

本県における5業種全体の業況判断D I、及び産業別の業況判断D Iについてみる。

まず、前年同期比でみた過去3年間の5業種全体の業況判断D Iである。今期の業況判断D Iは、▲28.2と前期比で4.7ポイント悪化している。

一方、来期については、▲22.8と改善の見通しである。

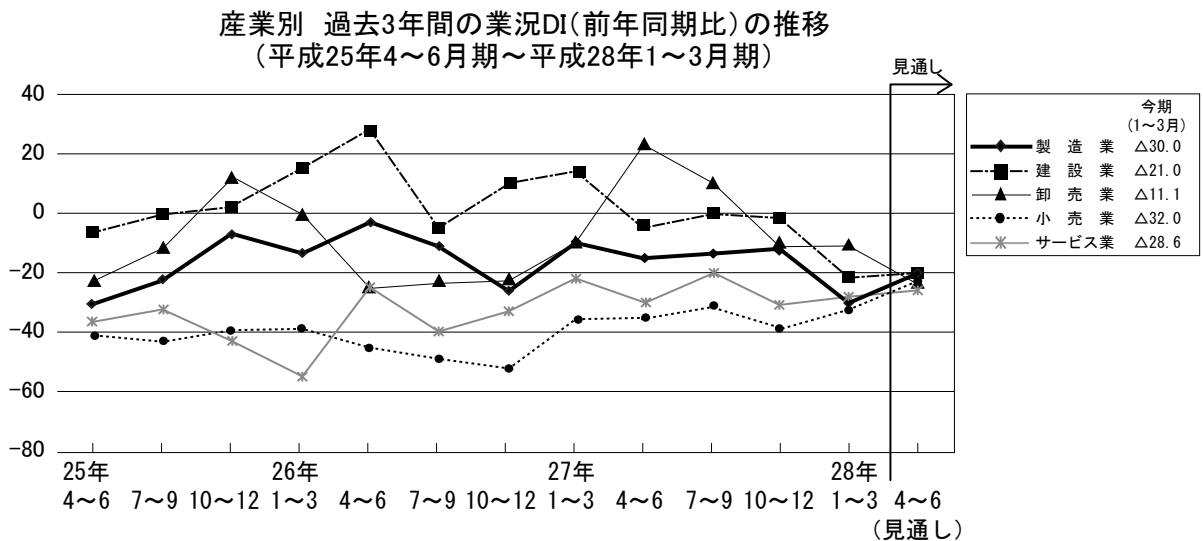


次に、前年同期比でみた過去3年間の産業別の業況判断D Iである。

製造業が▲30.0と前期比で16.7ポイント、建設業が▲21.0と前期比で18.2ポイント悪化している。

一方、卸売業が▲11.1と前期比で0.1ポイント、小売業が▲32.0と前期比で7.1ポイント、サービス業が▲28.6と前期比で1.5ポイント改善している。

来期は、卸売業を除く全ての業種が改善見通しである。



【注記】上記、産業全体の業況概観については、商工会調査対象165企業に甲府・富士吉田地域等からの121企業を含めた286サンプルを使用。卸売業については、中小企業基盤整備機構調査によるデータのみを使用。次ページからの産業別景況D Iについては、商工会地区企業のサンプル分析に基づくものである。

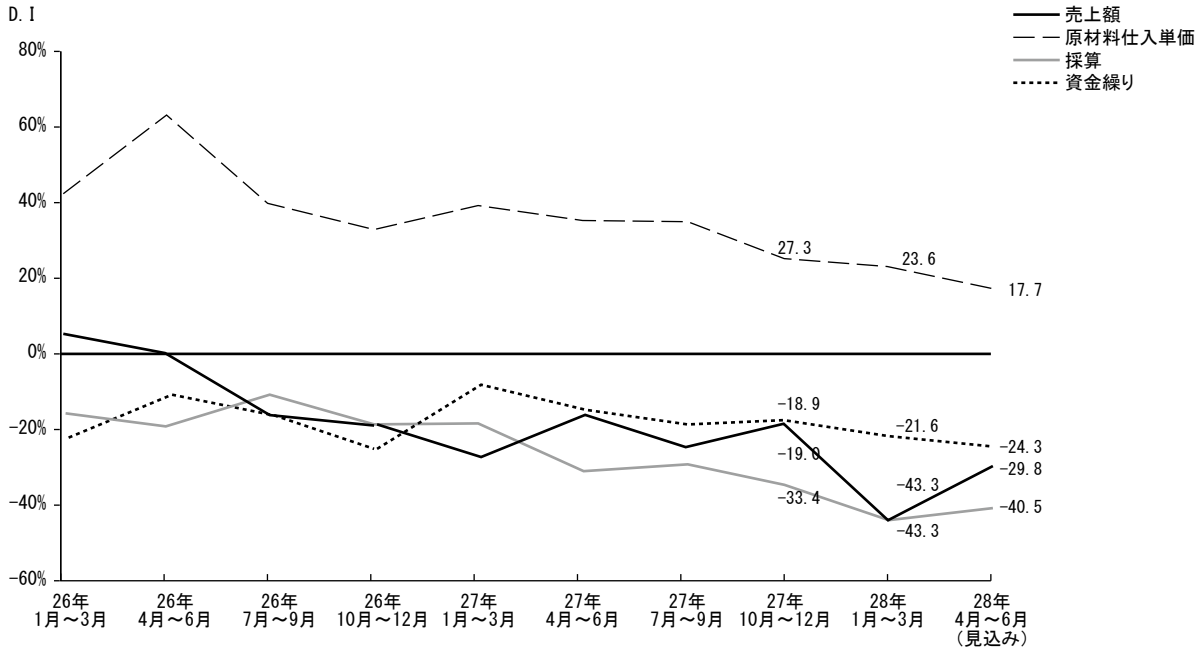
## 2. 製造業の動向

### (1) 景況概観

売上額D Iについては、今期は▲43.3と前期比で24.3ポイント悪化している。一方、来期は▲29.8と改善する見通しとなっている。原料仕入単価D Iは、今期は23.6と前期比で3.7ポイント低下(改善)している。来期は17.7と更に低下(改善)する見通しとなっている。採算D Iは、今期は▲43.3と前期比で9.9ポイント悪化している。一方、来期は▲40.5とやや改善する見通しとなっている。資金繰りD Iは、今期は▲21.6と前期比で2.7ポイント悪化している。来期は▲24.3と更に悪化する見通しとなっている。

今期は、原料仕入単価D Iを除いて悪化したものの、来期は、資金繰りD Iを除いて改善する見通しとなっている。

山梨県 製造業D I 主要景況項目の推移—前年同期比—



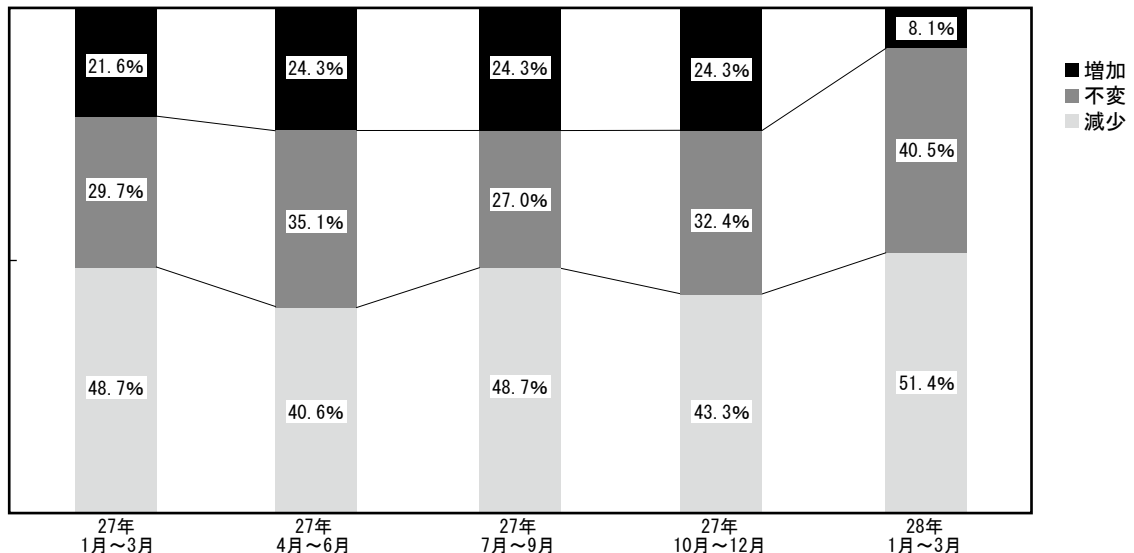
### (2) 主な項目で見る業況

#### ① 売上額 (売上額D Iの内容 (回答企業数 37社))

「増加」と答えた企業の割合は、8.1% (3社)と減少(前期比▲6社)している。

一方、「不変」は40.5% (15社)と増加し(前期比+3社)、「減少」も51.4% (19社)と増加している(前期比+3社)。

山梨県 製造業 売上額の状況—前年同期比—

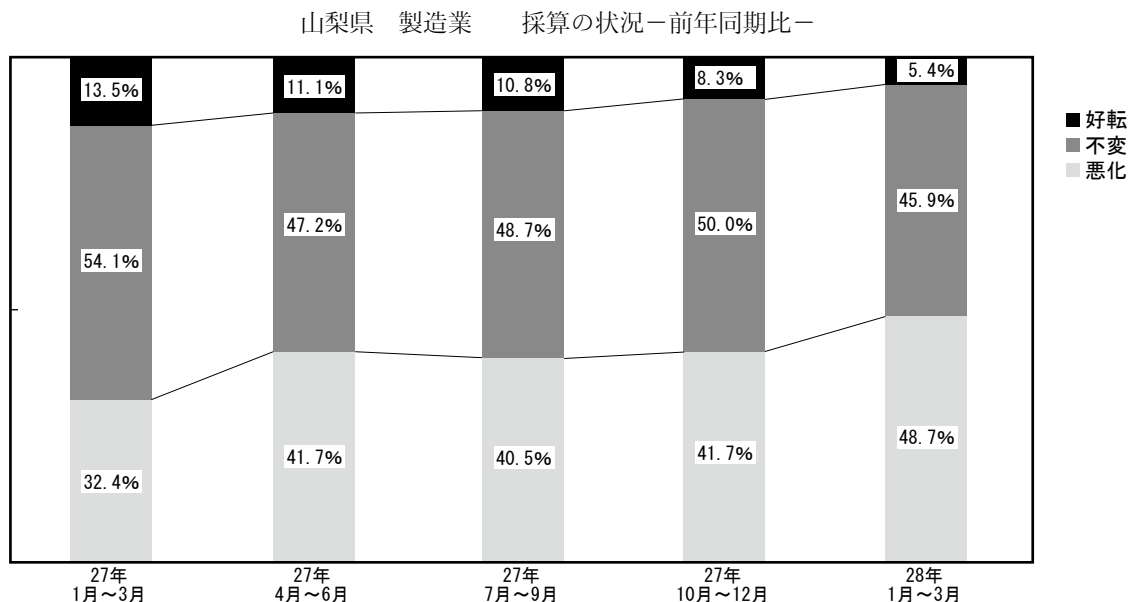


② 採 算（採算D Iの内容（回答企業数 37 社（前期 36 社））

※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、5.4%（2 社）と減少している（前期比▲1 社）。

「不変」は 45.9%（17 社）と減少（前期比▲1 社）、「悪化」は 48.7%（18 社）と増加している（前期比+3 社）。



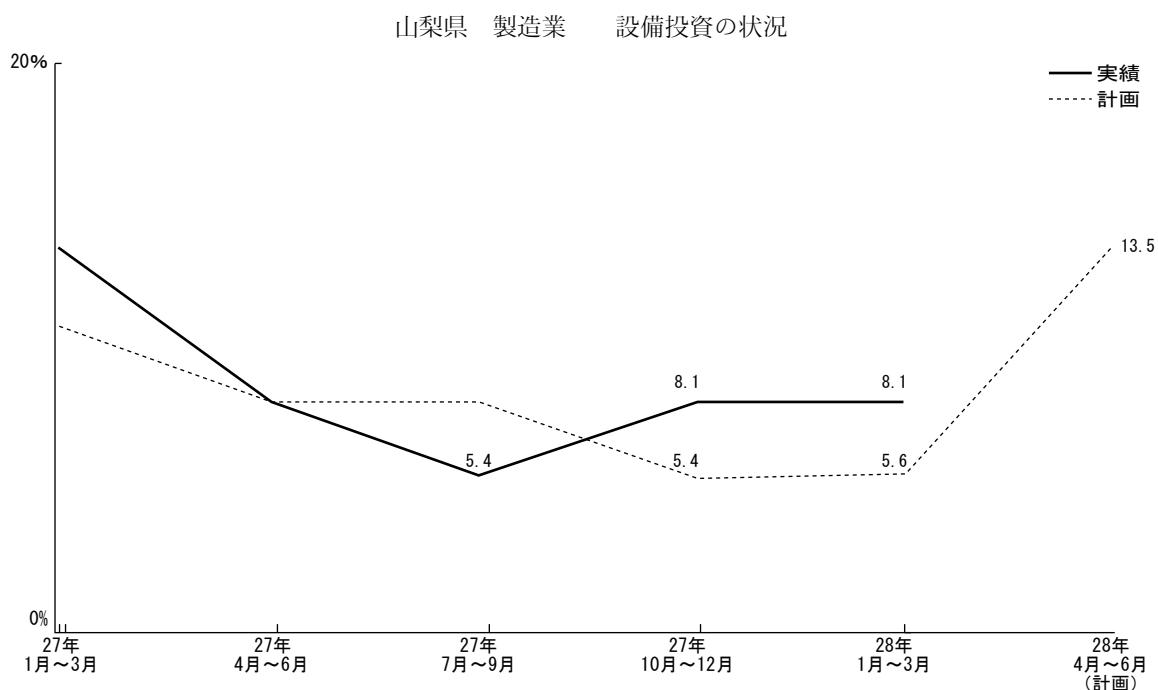
③ 設備投資（直近 1 年間における設備投資の状況（回答企業数 37 社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は 8.1%（3 社）であった（前期比±0 ポイント）。

その設備投資の内容は、「付帯施設」が 2 件、「工場建物」、「生産設備」、「車両・運搬具」が 1 件ずつであった。

来期の計画については、13.5%（5 社）の企業が予定している。

その設備投資の内容は、「生産設備」が 2 件、「工場建物」、「車両運搬具」、「付帯施設」、「OA 機器」が 1 件ずつになる。





④ 経営上の問題点（回答企業数 31 社）

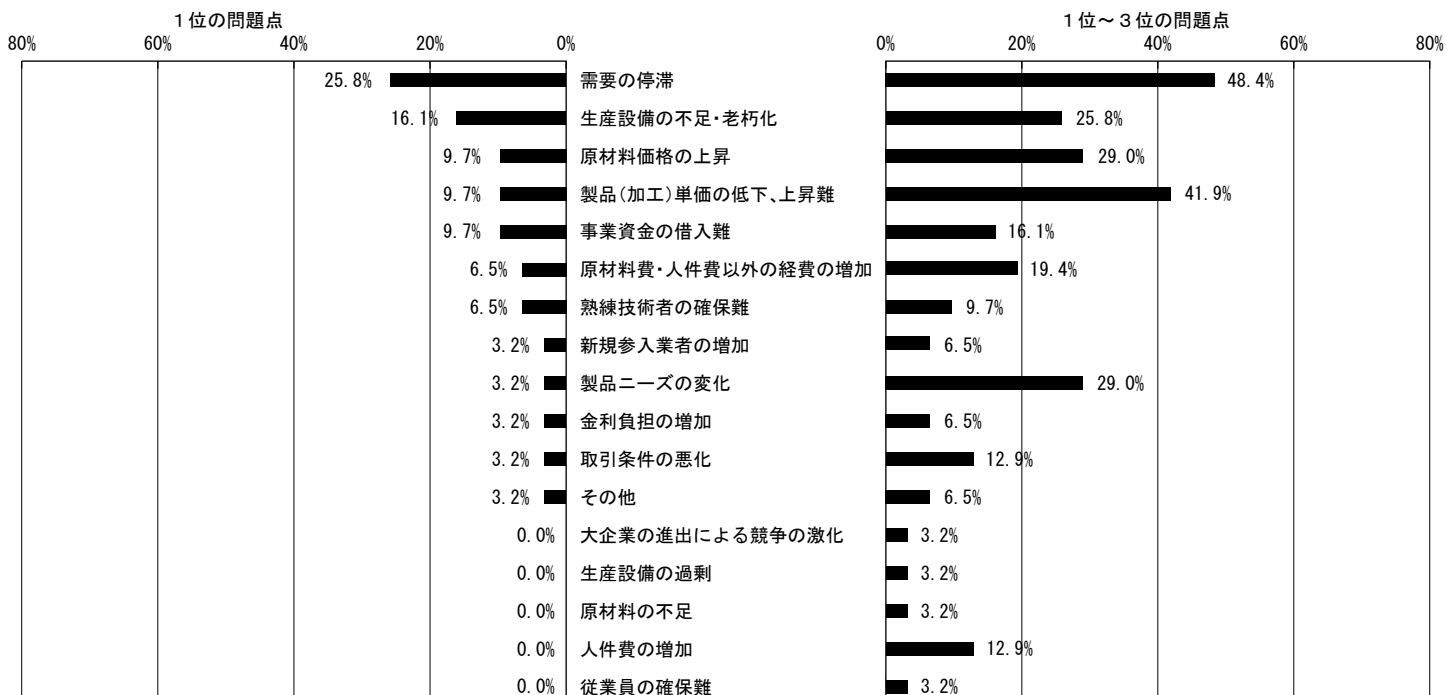
まず、経営上の問題点として、「1 位」に挙げられたものからみていく。

1 番目に多かったのは、「需要の停滞」の 25.8%（8 社）であり、2 番目は、「生産設備の不足・老朽化」の 16.1%（5 社）である。そのあと、「原材料価格の上昇」の 9.7%（3 社）などが続く。

次に、「1 位～3 位」に挙げられたものをみる。

1 番目に多かったのは、「需要の停滞」の 48.4%（15 社）であり、2 番目は、「製品（加工）単価の低下、上昇難」の 41.9%（13 社）である。そのあと、「原材料価格の上昇」、「製品ニーズの変化」の 29.0%（9 社）、「生産設備の不足・老朽化」の 25.8%（8 社）が続く。

山梨県 製造業 経営上の問題点の状況



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
食料品製造業	5	14
飲料・飼料・たばこ製造業	1	3
衣服・その他繊維製品製造業	0	3
印刷・同関連業	2	5
化学工業	1	5
プラスチック製品製造業	4	11
金属製品製造業	2	5
一般機械器具製造業	13	32
電気機械器具製造業	2	5
輸送用機械器具製造業	1	3
その他製造業	6	14
合計	37	100

従業員規模別

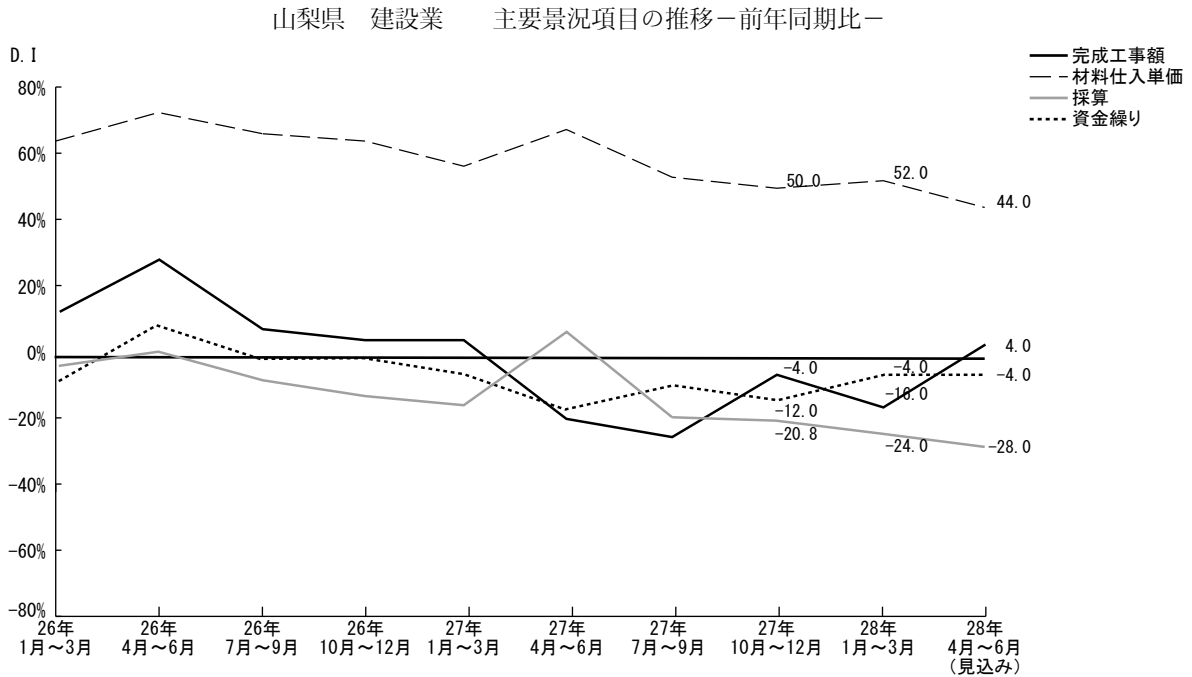
従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い	臨時等含む	企業数	構成比(%)
2 人以下	24	62.2	20	51.4
3 人～5 人以下	5	16.2	5	13.5
6 人～10 人以下	4	10.8	7	21.6
11 人～20 人以下	4	10.8	5	13.5
合計	37	100	37	100

### 3. 建設業の動向

#### (1) 景況概観

完成工事額D Iについては、今期は▲16.0と前期比で12ポイント悪化している。一方、来期は4.0ポイントと大幅に改善する見通しとなっている。材料仕入単価D Iは、今期は52.0と前期比で2.0ポイント増加(悪化)している。一方、来期は44.0と低下(改善)する見通しとなっている。採算D Iは、今期は▲24.0と前期比で3.2ポイント悪化している。来期は▲28.0と更に悪化する見通しとなっている。資金繰りD Iは、今期は▲4.0と前期比で8.0ポイント改善している。来期は▲4.0と横ばい見通しとなっている。

今期は、資金繰りD Iを除いて悪化している。来期は、完成工事額D Iが大幅に改善するとともに、材料仕入単価D Iも改善する見通しとなっている。

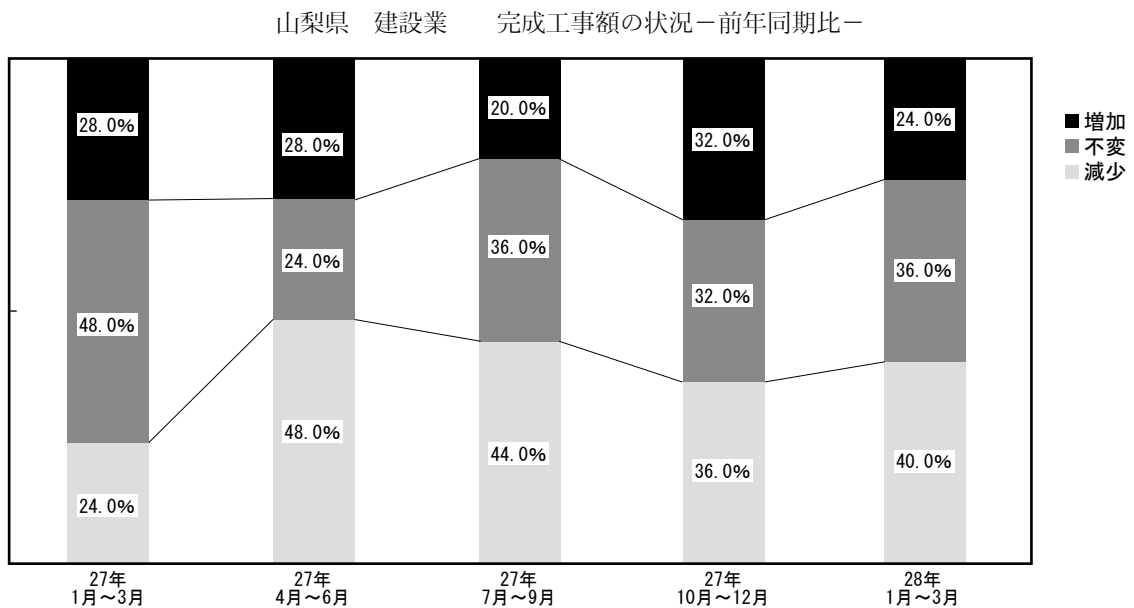


#### (2) 主な項目で見る業況

##### ① 完成工事額 (完成工事額D Iの内容 (回答企業数 25社))

「増加」と答えた企業の割合は、24.0% (6社)と減少している (前期比▲2社)。

一方、「不変」は36.0% (9社)と増加し (前期比+1社)、「減少」も40.0% (10社)と増加している (前期比+1社)。



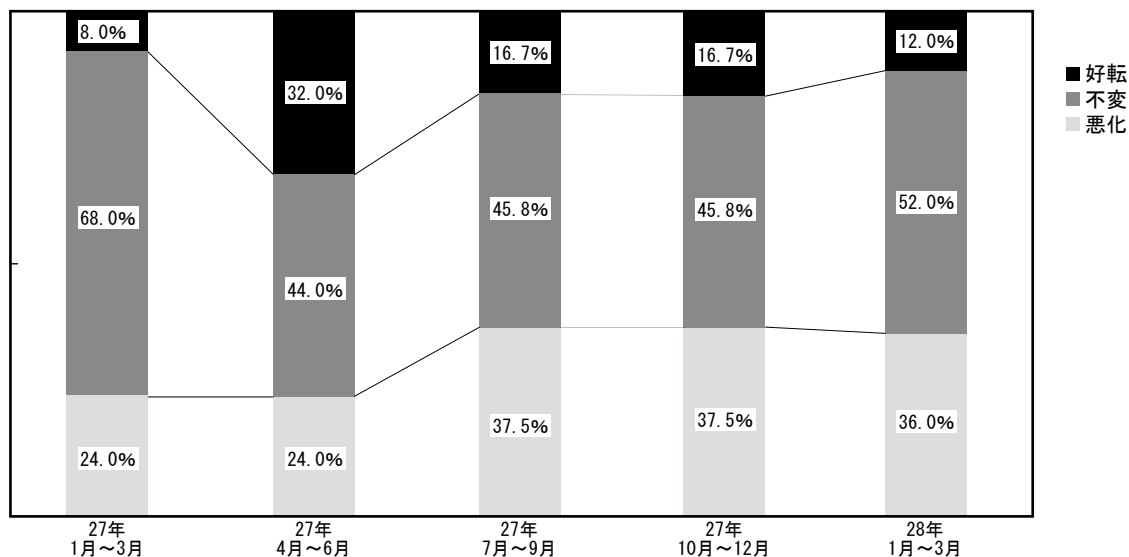
② 採算（採算D Iの内容（回答企業数 25社（前期 24社））

※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、12.0%（3社）と減少している（前期比▲1社）。

「不変」は52.0%（13社）と増加（前期比+2社）し、「悪化」は36.0%（9社）となっている（前期比±0社）。

山梨県 建設業 採算の状況－前年同期比－



③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数 25社））

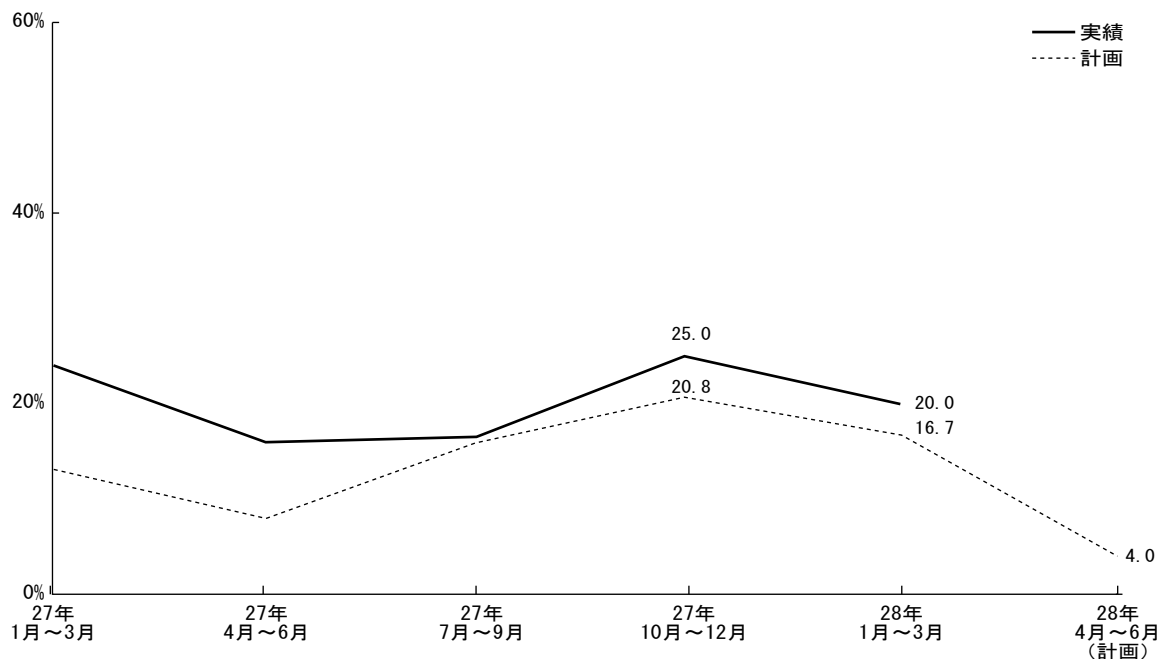
今期において、設備投資を行った企業の割合は20.0%（5社）であった（前期比▲5ポイント）。

その設備投資の内容は、「車両・運搬具」が3件、「その他」が2件、「建設機械」、「福利厚生施設」が1件ずつであった。

来期の計画については、4.0%（1社）の企業が予定している。

その設備投資の内容は、「建設機械」が1件になる。

山梨県 建設業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数 24 社）

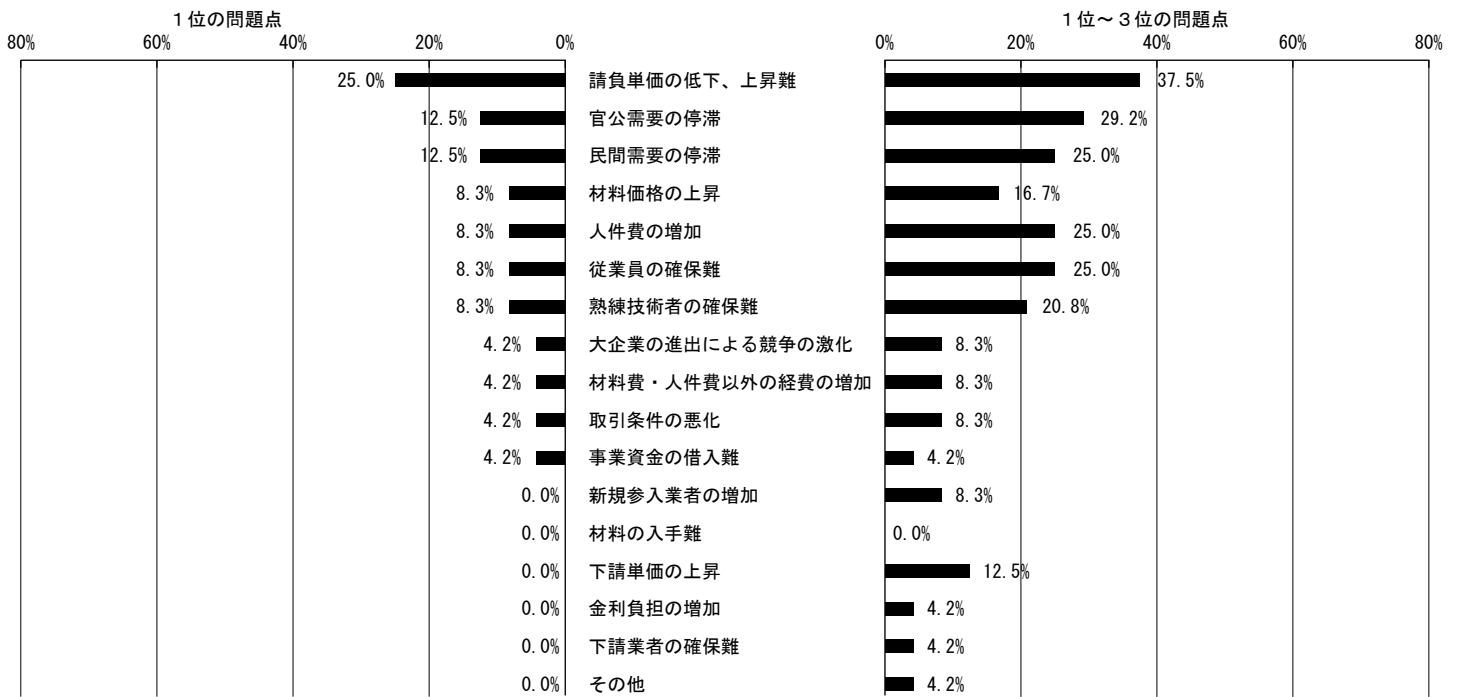
まず、経営上の問題点として、「1 位」に挙げられたものからみていく。

1 番目に多かったのは、「請負単価の低下、上昇難」の 25.0%（6 社）であり、2 番目に多かったのは、「官公需の停滞」、「民間需要の停滞」の 12.5%（3 社）である。そのあと、「材料価格の上昇」の 8.3%（2 社）などが続く。

次に、「1 位～3 位」に挙げられたものをみる。

1 番目に多かったのは、「請負単価の低下、上昇難」の 37.5%（9 社）であり、2 番目に多かったのは、「官公需の停滞」の 29.2%（7 社）である。そのあと、「民間需要の停滞」の 25.0%（6 社）などが続く。

山梨県 建設業 経営上の問題点の状況



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
総合工事業	18	72
職別工事業	4	16
設備工事業	3	12
合計	25	100

従業員規模別

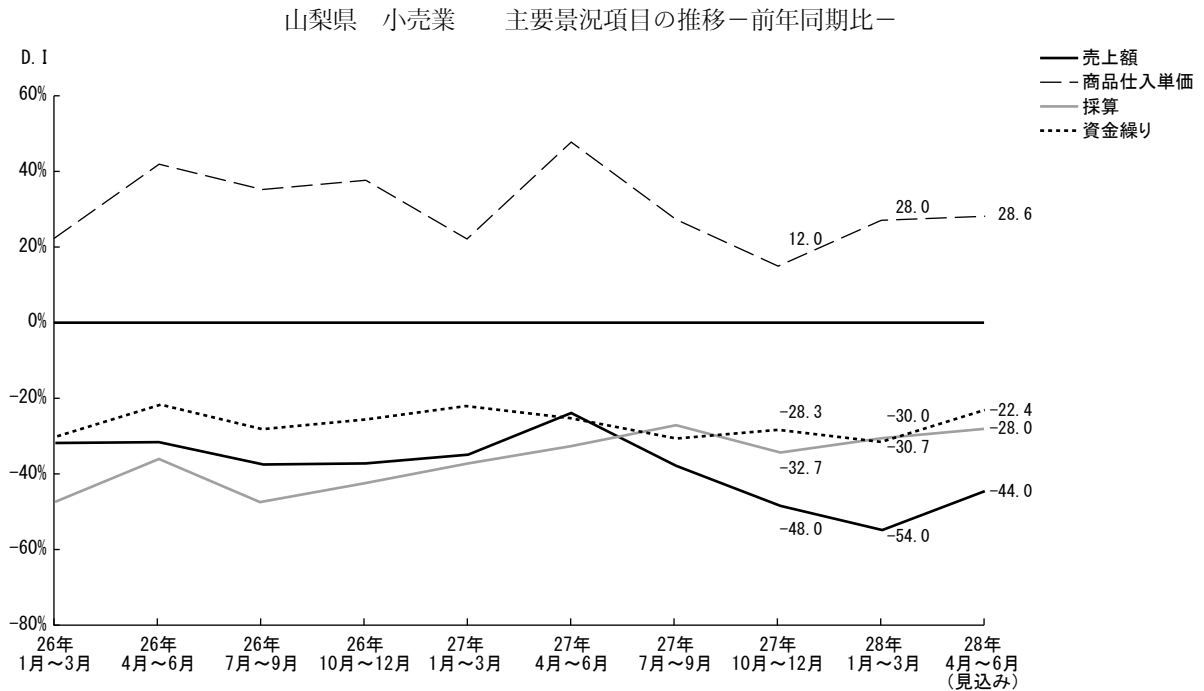
従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇	い	企業数	構成比(%)
2 人以下	10	36.0	8	32.0
3 人～5 人以下	6	28.0	7	32.0
6 人～10 人以下	4	16.0	5	16.0
11 人～20 人以下	5	20.0	5	20.0
合計	25	100	25	100

## 4. 小売業の動向

### (1) 景況概観

売上額D Iについては、今期は▲54.0と前期比で6.0ポイント悪化している。一方、来期は▲44.0と改善する見通しとなっている。商品仕入単価D Iは、今期は28.0と前期比で16.0ポイント増加（悪化）している。来期は28.6と更に増加（悪化）する見通しとなっている。採算D Iは、今期は▲30.0と前期比で2.7ポイント改善している。来期は▲28.0と更に改善する見通しとなっている。資金繰りD Iは、今期は▲30.7と前期比で2.4ポイント悪化している。一方、来期は▲22.4と改善する見通しとなっている。

今期は、採算D Iを除いて悪化したものの、来期は、商品仕入単価D Iを除いて改善する見通しとなっている。

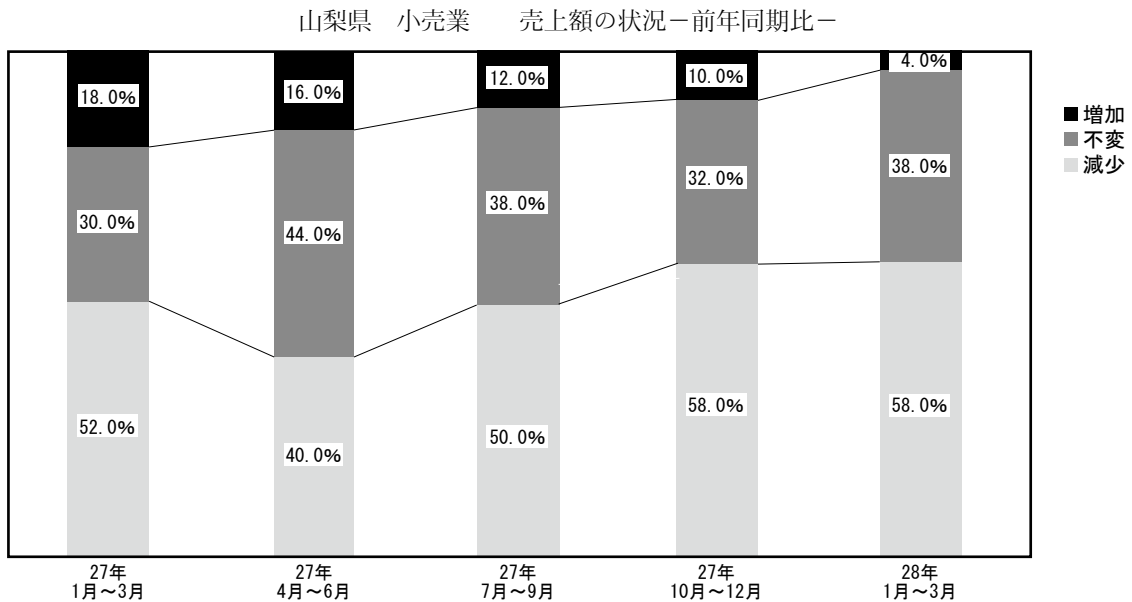


### (2) 主な項目で見る業況

#### ① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数50社））

「増加」と答えた企業の割合は、4.0%（2社）と減少している（前期比▲3社）。

「不変」は38.0%（19社）と増加し（前期比+3社）、「減少」は58.0%（29社）と横ばいとなっている。

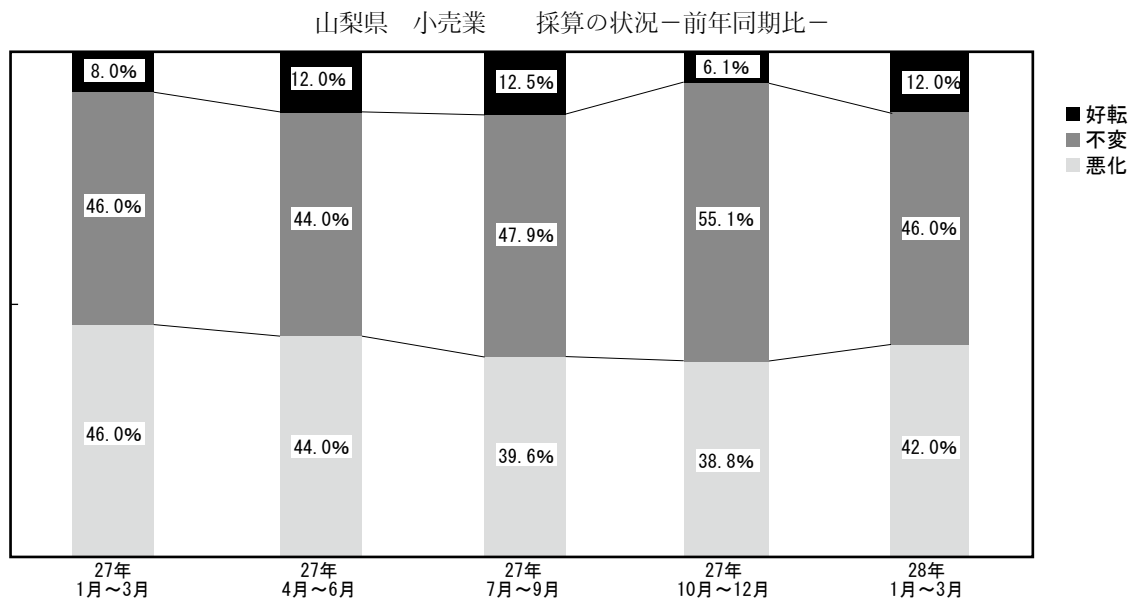


② 採算（採算D Iの内容（回答企業数 50社（前期 49社））

※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、12.0%（6社）と増加している（前期比+3社）。

「不変」は46.0%（23社）と減少し（前期比▲4社）、「悪化」は、42.0%（21社）と増加している（前期比+2社）。



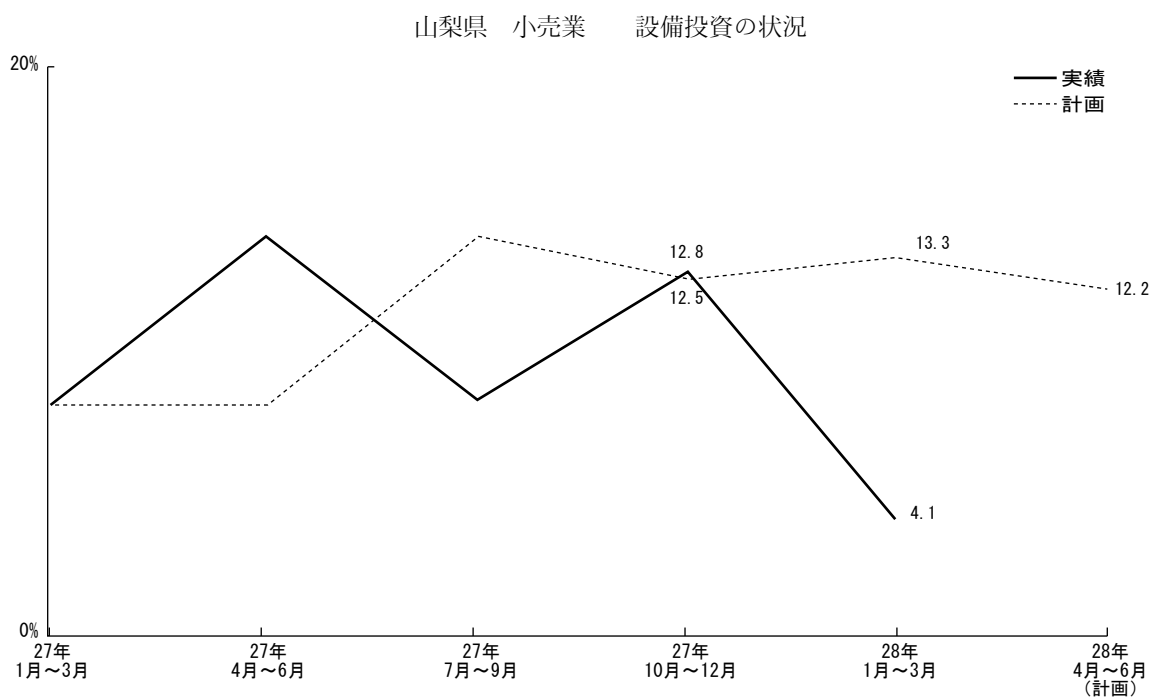
③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数 50社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は4.1%（2社）であった（前期比▲8.7ポイント）。

その設備投資の内容は、「販売設備」、「車両・運搬具」がそれぞれ1件ずつであった。

来期の計画については、12.2%（6社）の企業が予定している。

その設備投資の内容は、「その他」が3件、「販売設備」、「OA機器」が2件ずつ、「店舗」、「車両運搬具」が1件ずつになる。



④ 経営上の問題点（回答企業数 47 社）

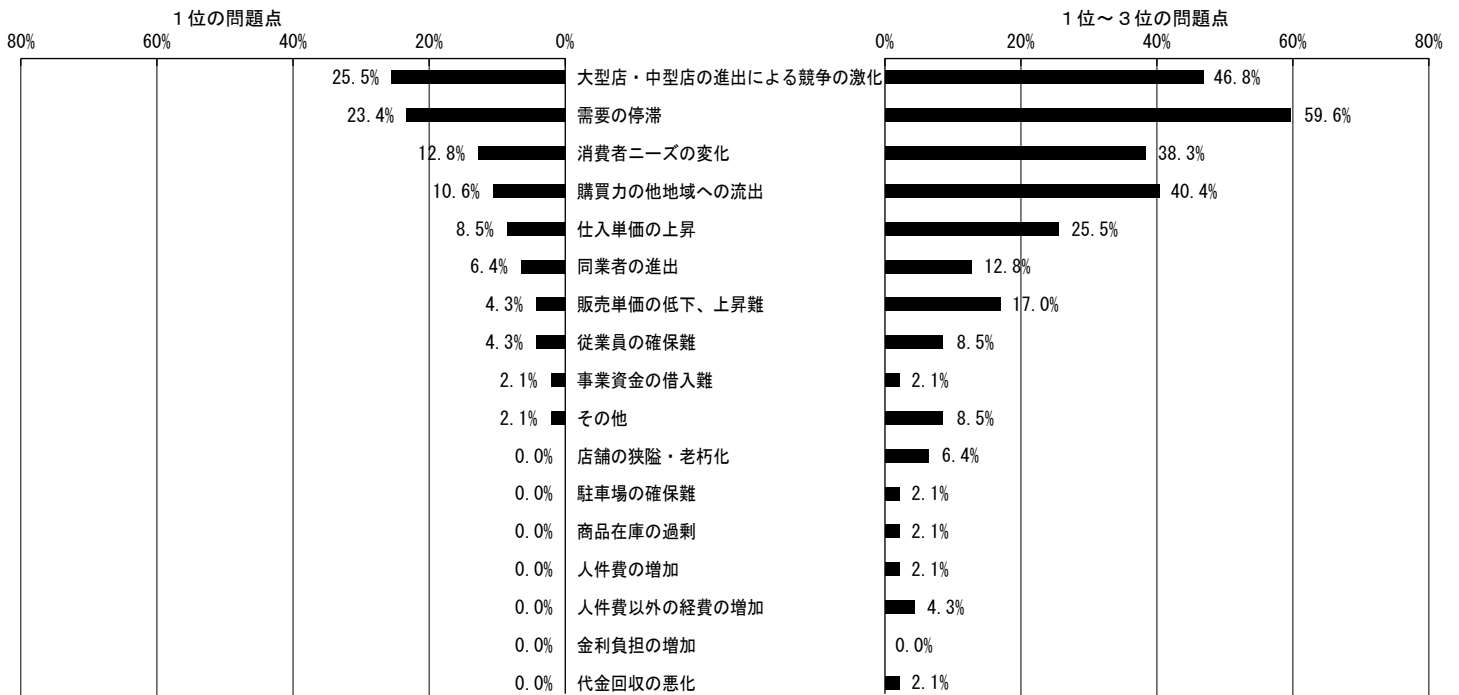
まず、経営上の問題点として、「1 位」に挙げられたものからみていく。

1 番目に多かったのは「大型店・中型店の進出による競争の激化」の 25.5%（12 社）であり、2 番目に多かったのは、「需要の停滞」の 23.4%（11 社）である。そのあと、「消費者ニーズの変化」の 12.8%（6 社）が続く。

次に、「1 位～3 位」に挙げられたものをみる。

1 番目に多かったのは、「需要の停滞」の 59.6%（28 社）であり、2 番目に多かったのは、「大型店・中型店の進出による競争の激化」の 46.8%（22 社）である。そのあと、「購買力の他地域への流出」の 40.4%（19 社）が続く。

山梨県 小売業 経営上の問題点の状況



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
各種商品小売業	0	0
織物・衣服・身の回り品小売業	12	22
飲食料品小売業	16	36
自動車・自転車小売業	2	6
家具・建具・じゅう器小売業	4	10
その他小売業	16	26
合計	50	100

従業員規模別

従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い	臨時等含む	常雇い	臨時等含む
	企業数	構成比(%)	企業数	構成比(%)
2 人以下	46	90.0	40	80.0
3 人～5 人以下	4	10.0	10	20.0
6 人～10 人以下	0	0.0	0	0.0
11 人～20 人以下	0	0.0	0	0.0
合計	50	100	50	100

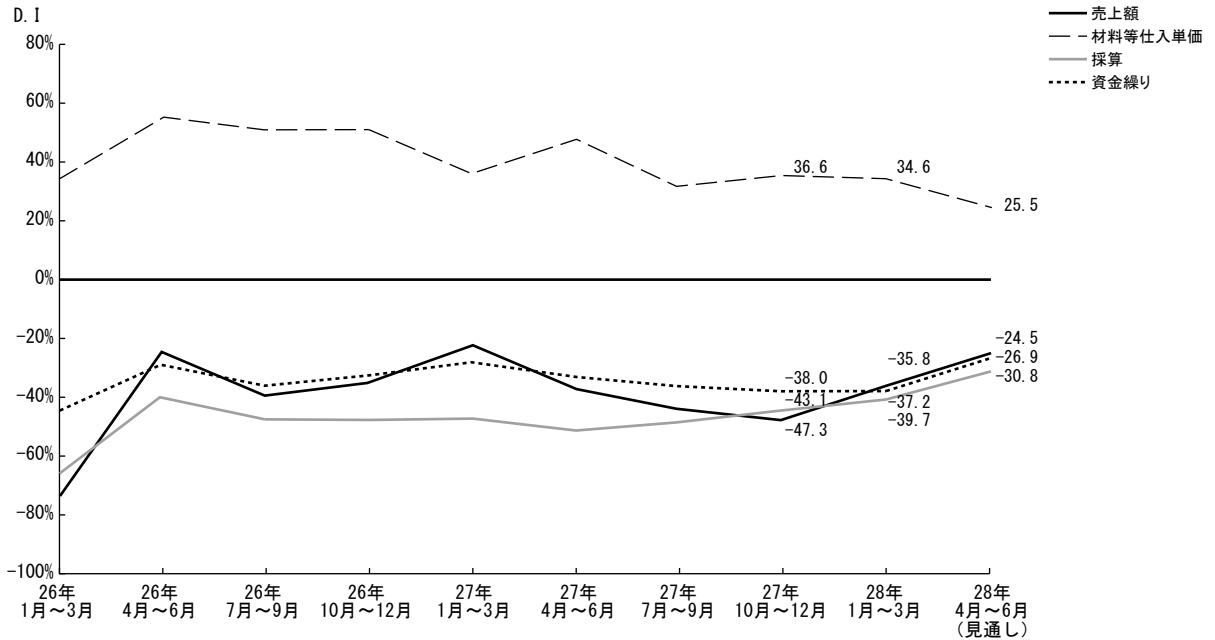
## 5. サービス業の動向

### (1) 景況概観

売上額D Iについては、今期は▲35.8と前期比で11.5ポイント改善している。来期は▲24.5と更に改善する見通しとなっている。材料仕入単価D Iは、今期は34.6と前期比で2.0ポイント低下(改善)している。来期は25.5と更に低下(改善)する見通しとなっている。採算D Iは、今期は▲39.7と前期比で3.4ポイント改善している。来期は▲30.8と更に改善する見通しとなっている。資金繰りD Iは、今期は▲37.2と前期比で▲0.8ポイント改善している。来期は▲26.9と更に改善する見通しとなっている。

今期は全てのD Iで改善しているとともに、来期についても、全てのD Iが改善する見通しとなっている。

山梨県 サービス業 主要景況項目の推移—前年同期比—



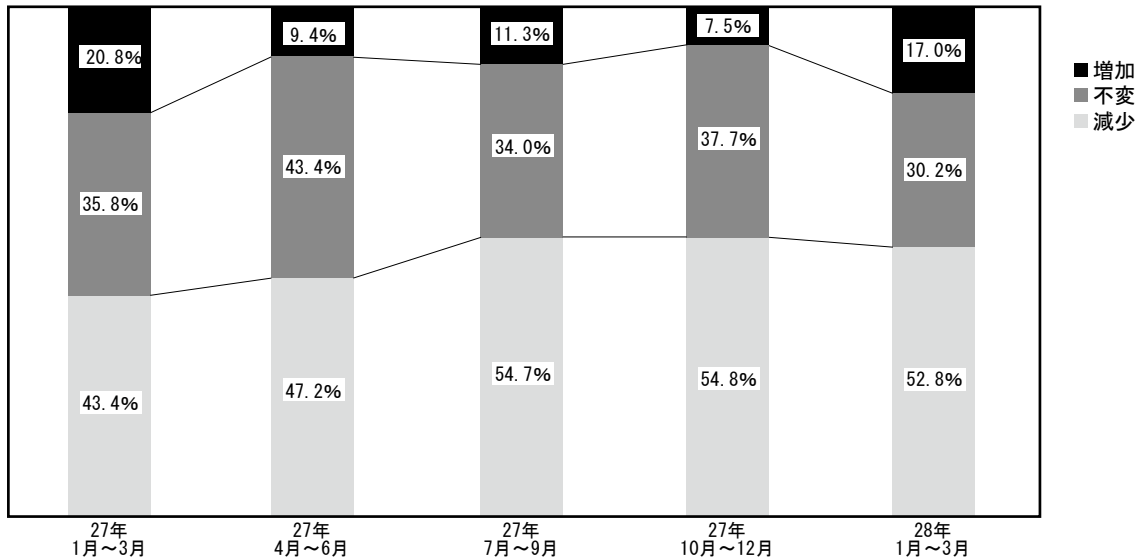
### (2) 主な項目で見る業況

#### ① 売上額 (売上額D Iの内容 (回答企業数 53社))

「増加」と答えた企業の割合は、17.0% (9社)と増加している (前期比+5社)。

一方、「不変」は30.2% (16社)と減少し (前期比▲4社)、「減少」も52.8% (28社)と減少している (前期比▲1社)。

山梨県 サービス業 売上額の状況—前年同期比—



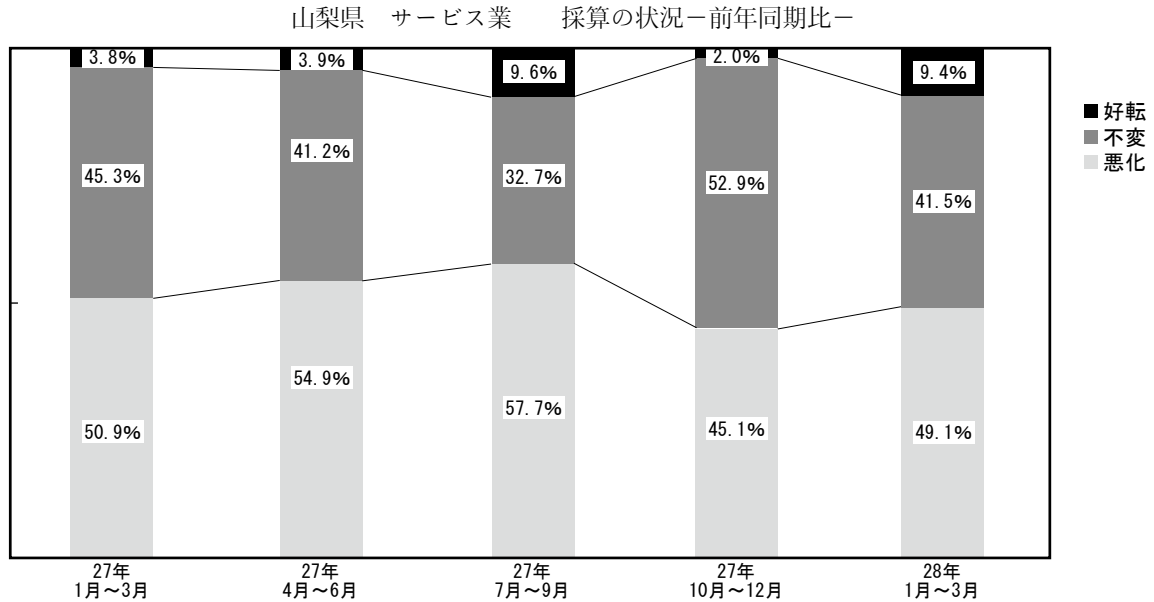


② 採 算（採算D Iの内容（回答企業数 53 社）

※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、9.4%（5 社）と増加している（前期比+ 4 社）。

「不変」は 41.5%（22 社）と減少し（前期比▲ 5 社）、「悪化」は 49.1%（26 社）と増加している（前期比+ 3 社）。



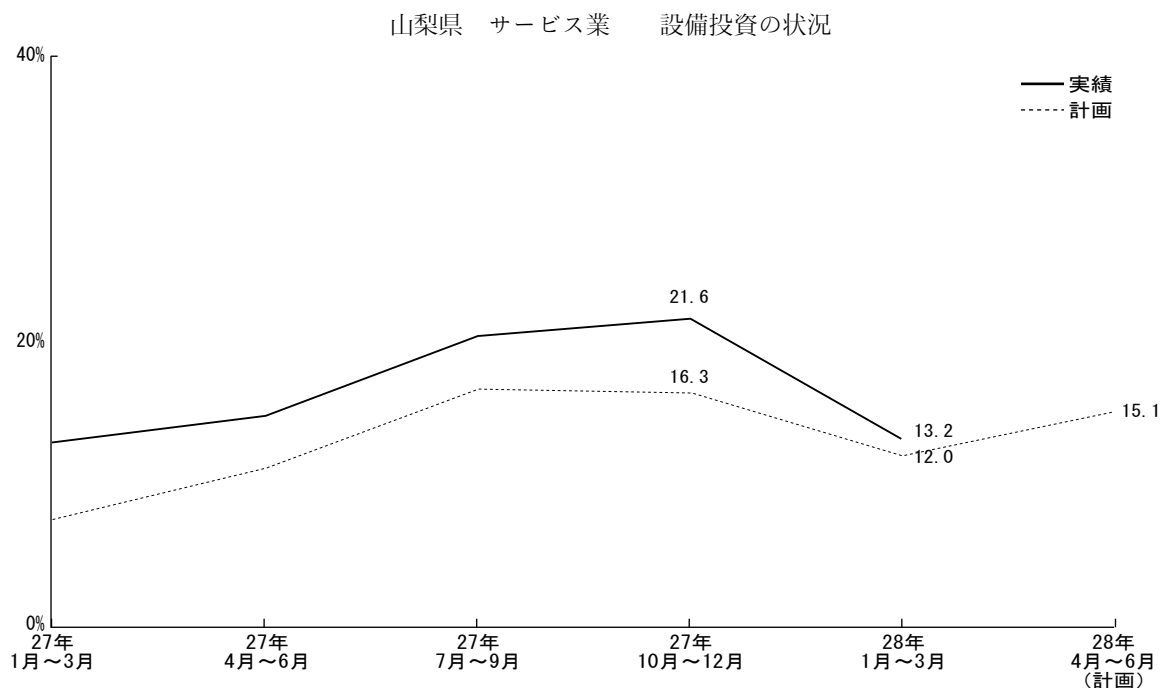
③ 設備投資（直近 1 年間ににおける設備投資の状況（回答企業数 53 社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は 13.2%（7 社）であった（前期比▲ 8.4 ポイント）。

その設備投資の内容は、「その他」が 3 件、「サービス」、「車両運搬具」、「OA 機器」が 2 件ずつ、「建物」が 1 件であった。

来期の計画については、15.1%（8 社）の企業が予定している。

その設備投資の内容は、「建物」、「サービス」、「車両運搬具」が 2 件ずつ、「付帯設備」、「OA 機器」、「その他」が 1 件ずつになる。



④ 経営上の問題点（回答企業数 46 社）

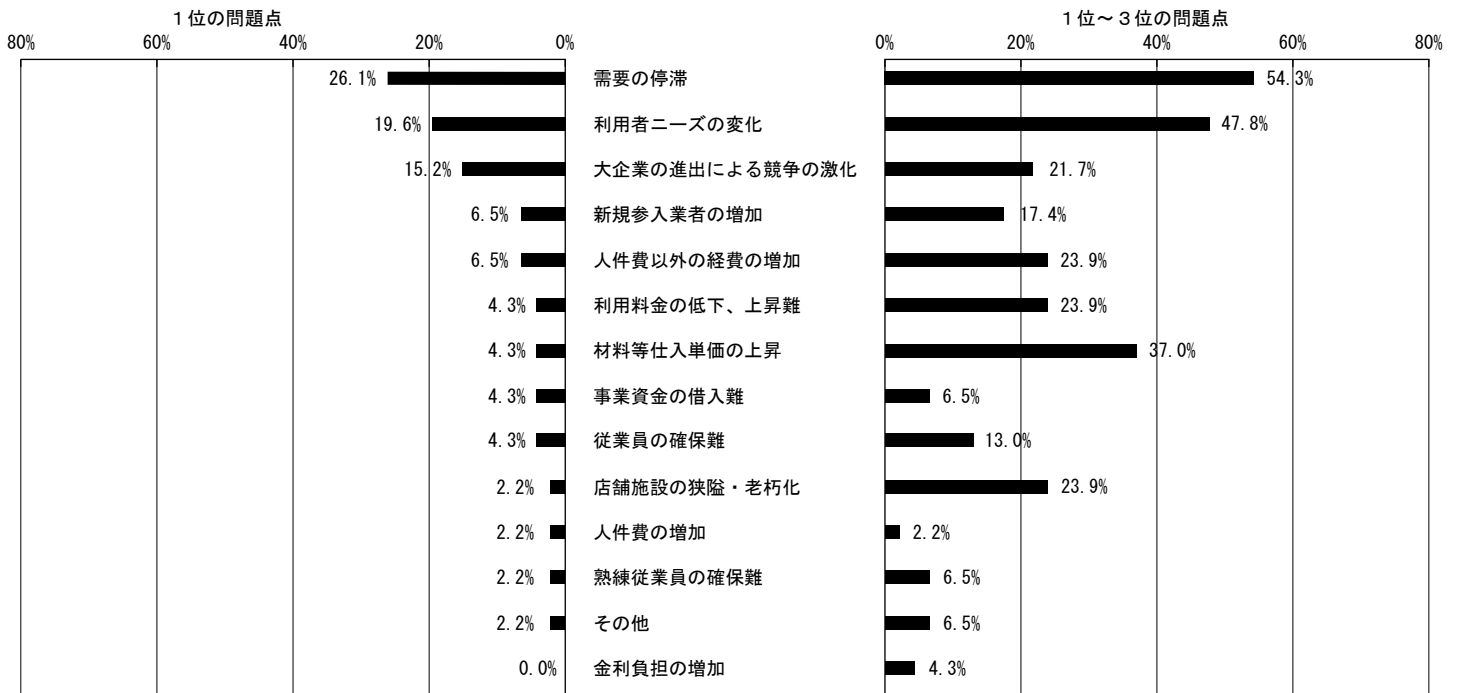
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「需要の停滞」の26.1%（12社）であり、2番目に多かったのは、「利用者ニーズの変化」の19.6%（9社）である。そのあと、「大企業の進出による競争の激化」の15.2%（7社）が続く。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

1番目に多かったのは、「需要の停滞」の54.3%（25社）であり、2番目に多かったのは、「利用者ニーズの変化」の47.8%（22社）である。そのあと、「材料等仕入単価の上昇」の37.0%（17社）が続く。

山梨県 サービス業 経営上の問題点の状況



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
一般飲食店（一般・遊興）	19	36
宿泊業	8	15
運送業	2	4
自動車整備業	4	6
洗濯・理美容業	16	30
その他のサービス業	4	9
合計	53	100

従業員規模別

従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い	臨時等含む	企業数	構成比(%)
2人以下	44	83.0	40	75.5
3人～5人以下	9	17.0	13	24.5
6人～10人以下	0	0.0	0	0.0
11人～20人以下	0	0.0	0	0.0
合計	53	100	53	100